



希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町 7-16

tel:049-226-2491 fax:049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 27-03

9月号

発行 2024年9月14日

Chartered 1998

会長 利根川 太郎

クラブ会長主題 「原点に戻って、川越 YMCA を支えよう。」

副会長 松川 厚子

国際会長: A. Shanavaskhan シャナヴァスカーン(インド)

会計 吉田 公代

主題 Together for better world より良い世界のために、共に

書記 吉野 勝三郎

スローガン Arise and Shine 日本語訳: 立ち上がろう、そして輝こう

アジア太平洋地域会長 ジョーン・ウォン (香港)

主題 大きなインパクトを起こそう

東日本区理事 山田 公平 (宇都宮)

主題 ワイズの方向性を見極める

関東東部部長 山本 剛史郎 (川越)

主題 我々は微力かもしれないが、無力ではない!

9月の聖句

目を覚ましていなさい。信仰に基づいてしっかり立ちなさい。雄々しく強く生きなさい。何事も愛を持って行いなさい。

コリントの信徒への手紙 I 16:13-14

Be on your guard; stand firm in the faith; be men of courage; be strong. Do everything in love.

1 Corinthians 16:13-14

8月統計(8月24日)

出席者 9名 出席率 90%

川越クラブ 8月例会報告

会長 利根川太郎

川越クラブの2024-2025年度が始まり、クラブの皆さんは埼玉YMCA川越センターの夏季休業中プログラムに、それぞれ都合のつく日程で協力するなど、精力的にクラブ活動に取り組んでくださっています。

そんな中、8月24日(土)に川越センターに於いて、第2回の川越クラブ例会を実施いたしました。懸案の川越クラブ25周年記念例会の検討を始め、年内の例会計画を決定するなど、活発な議論を行いました。

また、8月8日から11日まで開催されたタイ・チェンマイでの第74回ワイズメン国際大会と、国際大会に先だって5日から8日に開催されたCPE INSTITUTE LEADERSHIP CONCLAVEの様子、参加した利根川恵子、太郎から報告されました。詳しくは、ブリテンの今月号に報告がありますので、そちらをご覧ください。

8月例会での検討結果は以下です

- ・懸案でした川越クラブ25周年記念例会は、11月30日(土)18:00~実施いたします。内容については開催場所を含めて未定ですが、晩餐会とする方向で実行委員会が検討し、次回9月例会で詳細を詰めます。
- ・年内の川越クラブの例会が決まりましたので、関連する関東東部部会の日程も併せて以下にまとめます。

9月26日(土)川越YMCA 14:00~16:00

IBC検討、25周年記念例会検討、ファンด์検討

10月12日(土)所沢センター17:00~事務例会

202号室、18:00~20:00合同例会

10月19日(土)ウエスタ川越11:00受付準備等

12:00~15:00関東東部大会

11月30日(土)場所未定 18:00~

川越クラブ25周年記念例会

12月21日(土)川越YMCA 14:00~16:00

クリスマス例会

- ・見守りサポートとして、埼玉YMCA川越センターの活動支援は、以下の日程でサポートします。

9月4日(水)、11日(水)、18日(水)、25日(水)
いずれも16:45~17:45

18日は山崎さん、それ以外は利根川太郎がサポートします。

**CPE INSTITUTE LEADERSHIP
CONCLAVE 参加報告**

利根川太郎

第74回ワイズメンズクラブ国際大会タイ・チェンマイ大会

に先駆けて実施されました CPE INSTITUTE LEADERSHIP CONCLAVE の参加報告をします。

まず、CPE INSTITUTE についてですが、2023-2024 期の 2024 年 2 月から開始された新しい試みです。クラブプレジデントエレクト(CPE)つまり次期クラブ会長を対象とする、国際的な研修会との位置づけのようです。今回の CONCLAVE の前に 3 回、いずれも Zoom にて実施され、恵子が通訳として参加してくれました。

第 1 回は 2024 年 2 月 3 日に行われました。内容は「クラブレベルでアイデアを行動に変えるには」として、次期会長として「いかにして若い人に興味を持ってもらうか」をテーマに講義がありました。

第 2 回は 4 月 6 日に開催されました。「活動資金を如何に獲得するか」をテーマに実践例が発表されました。インドや欧米では、寄付を募るために表彰状やバッジなど、顕彰するためのアイテムを個人に送るのが効果的とされているのが興味深かったです。日本からは、十勝クラブのジャガイモファンドが東日本区次期理事の山下真さんから紹介されました。

第 3 回は 5 月 11 日に実施されましたが、私はあいにく検査入院の直後で体調が戻らず、参加できませんでした。

第 4 回がチェンマイでの対面による会合となりました。日本からは、東京町田コスモスの権藤徳彦さん、神戸ポートの大野勉さん、大阪西クラブの小淵さん、川越クラブの利根川太郎が参加しました。また、東京多摩スマイルの田中博之さんが講師として、利根川恵子が通訳として参加してくれました。

第 1 日 8 月 6 日は、参加各クラブのいくつかが代表してクラブの概要と特徴、会員増強の現状などについて報告がありました。アメリカでは退役軍人のためのサービスが中心のクラブやファンドレイジングを活発に行うクラブなどが報告しました。いずれも会員増強には苦労しているようです。インドからは、TOF プロジェクトを実施する中でメンバーの獲得の様子や、例会は家族全員で参加する様子などが報告されました。アフリカからは、ケニアやウガンダのコミュニティーサービスを通じた会員獲得が報告されました。インドやアフリカでは多数の新規会員を獲得する中、「クオリティメンバー」つまり会費をきちんと払うメンバーの獲得についての言及もありました。香港では、ビジネス関係の啓発活動や特別支援の子どもたちへの支援など、日本と同じような状況も報告がありました。

第 2 日 8 月 7 日は、ワイズメンズクラブの歴史について、クイズ形式や講義で情報提供があり、いろいろと面白い話が伺えました。なお、現状はざっと 76 カ国 1500 クラブ 23,000 人の団体だということです。その後の Triangle2 というコンサルタント会社の研修では「Just Make Your Mark」というテーマで講義がありました。目的を絞って、シンプルな言葉でコミュニケーションを取れ、など一般的な内容でした。次の田中博之さんの講義は、博識に基づいたわかりやすい内容で、特に SWOT 分析など参考になりました。グループディスカッションは、「Membership retention and motivation」についてのグループ討議に参加しました。川越クラブの様子を、人数は少ないが、会長以外は英語が堪能で、個性的でとてもアクティブなメンバーが揃っている。YMCA との関係も良好で、その支援を中心に今年度の活動を進めていると話して参りました。

第 3 日 8 月 8 日は、Tracy さんから YMI の概要についてグループディスカッション形式で紹介がありました。

EF や RBM、W4W、IBC などについての情報が得られて、とても興味深かったです。なお、TOF の締切は 3 月 15 日、BF の応募締切は 12 月 1 日ですので、アイデアのある方、興味のある方は内容とともにご確認ください。

以上、3 日間の研修でだいぶ疲れましたが、多くの皆さんに助けをいただいて何とか最後の修了証をいただきまいました。かなり雑ばくな概要ですが、CPE INSTITUTE LEADERS CONCLAVE の報告といたします。



国際の舞台から

“Keiko’s Monthly Briefing of YMI/ASP”

第74回国際大会に参加しました。

利根川恵子

前号では、国際大会が始まるまでのご報告でした。今回は具体的にプログラムの内容とその成果、感想などをご紹介いたします。

大会のプログラム概要は以下の通りです。国際大会を「国際フェスティバル」と銘打って開催しただけあり、国際会長就任式、国際書記長報告、基調講演、国際プロジェクトに関する分科会など、ワイズメンズクラブ国際協会についての最低必要限の会議的な内容はありましたが、ゲームやダンス、ファッションショーと楽しい企画満載でした。国際大会の大きな目的であるフェローシップは十分に達成できたと確信しています。

東西日本区からは計 57 名が参加し、韓国の 174 名に次いで二番目に大きなデリゲーションで日本の存在感を示しました。また、アジア太平洋地域部会の折には、恵子が事業主任に感謝状を贈呈し、一年間の支援、協力に感謝するとともに、ジョーン・ウォン新地域会長が事業主任を紹介し、改めてアジア太平洋地域の新たなスタートを切る機会となりました。

月日	時間	内容
8月8日 (木)	15:30	開会式 ・フラッグセレモニー ・ワイズソング ・開会祈祷 ウィチャン元国際会長 ・歓迎のこたば ラチャン・大会実行委員会委員長 ・国際会長、国際執行役員就任式
	17:30	基調講演「ザ・ブルー・ミュージック」ヨハン・ウィルヘルム・エルトヴィック・元世界YMCA 同盟総主事
	19:30	・直前国際会長晩餐会
8月9日 (金)	9:00	アジア太平洋地域クワイアチーム演奏 開会祈祷
	9:30	初日ハイライト・ビデオ上映
	10:45	国際書記長報告
	14:00	YMI フェスティバル・ゲーム
	16:00	YMI 国際プログラム分科会
	16:45	韓国地域によるピース・コンサート
	17:15	ボリウッドダンス・レッスン
	18:30	各地域別会議（直前地域会長・地域事業主任への感謝状贈呈、今期事業主任委嘱状交付等） 国際会長晩餐会（民族衣装ファッションショー）
8月10日 (土)	8:45	エクスカーショ
	18:30	次期国際会長晩餐会
8月11日 (日)	6:30	チェンマイ運河ウォーカーソン
	9:00	デンマーク区クワイアチーム演奏
	9:30	基調講演「ストラテジー2032、ミッションの成功に向けて」トライアングル2（トム・マッセイ、ローリー・スワン）
8月11日 (日)	11:00	2026ドバイ国際大会、2024国際ユースコンボケーション（ドバイ）、2025地域大会プロモーション
	11:40	YMI フェスティバル・ハイライト・ビデオ
	12:00	大会実行委員会への感謝 閉会式



ファッションショーでは、東西日本区が協力して、浴衣を披露。男性は、法被姿も登場。



参加者全員の集合写真

（エクスカーショ以外、会場はすべてチェンマイ・エンプレス・コンベンションセンター）

8月8日(木)フラッグセレモニー 参加31カ国の国旗が勢揃い。ワイズメンズクラブが存在する国で参加者のいない国の国旗はロビーに掲揚されました。日本の国旗は、山田公平・東日本区理事が旗手でした。

番外編

今回は、国際大会の前日と終了後の半日にフリータイムがありました。その時間を利用して、おかげさまで、タイならではの経験をすることができました。

前日には、象の保護区で筏に乗り、象と牛車に乗り、虎の檻の中で虎と戯れました。大会終了後には、チェンマイ郊外のカレン族（首長族）の村に行き、首に真鍮のリングを何本もはめている女性や女の子と出会いました。5歳の頃から付け始め、最初は1kgほどの重さで4巻きぐらいからスタートし、10歳で倍の2kgになり、15歳で3kg、20歳で4kg、25歳でその重さは5kgにも達するそうです。それ以降は、本人の自由とのこと。そばに居た女の子に写真を

一緒に撮りたいと声をかけたところ、快く承知してくれましたが、終わったら手を出してチップを要求してきました。そしてニッケルの硬貨は飛ばして、銀貨だけを取るという、いかにも観光客慣れた様子に生きる力を感しました。



「国立科学博物館へ行こう！」

吉野 勝三郎

川越センターの夏の特別プログラムの一つとして、8月6日(火)に開催されたこのプログラムの手伝い(?)をさせてもらいました。

参加者は、児童7名、引率者4名、計11名で上野の国立科学博物館に行ってきました。

私は、上野駅公園口で待ち合わせ、まずは全員で昼食。当初予定して場所が変更になり、コンサートなどが頻繁に開催される、上野文化会館の「カフェ・ヒビキ」で、全員が自分で食券を買うところから体験してもらいました。特別な問題もなく、皆さん、食事を楽しみました。

いよいよ、国立科学博物館入場です。引率に慣れている職員の方は、団体行動に親しまない子供がいることは十分承知しておられるので、まあまあ無事全員入場できました。一人一人、興味のある分野は異なるのは当然のことで、もっと時間が欲しかったのではないかと思います。

退館後に、一人の児童が、動かなくなっていました。ある展示をもっとじっくり見たかったようです。友達が説得しても、職員が話しかけてもなかなか応じません。止むを得ず、一人の職員に後事を託して、私を含めてその他の人達は帰路につきました。YMCA 職員のご苦勞の一端を知ることになりました。

一人の職員の意見では、私が男性だったことで、子供たちは、女性の職員の言うことより、私の指示により素直に従っていたとのことでした。そんなことで役立つのであれば、又、声をかけて下さい。





夜は、みんなで花火。「綺麗」「たまやー」と子どもたちは、花火を楽しんでいました。



2日目は、流しそうめんと天ぷらをお腹いっぱい食べました。

「見守りサポート」を体験して。

吉野 勝三郎

9月9日(月)の午後5:00~7:10 初めて、川越センターで電話番号をさせていただきました。私は、25年間以上、川越センターに顔を出していますが、このような体験は初めてなので、喜んで奉仕させていただきました。幸か不幸か、電話は掛かってきませんでした。

1. 通ってくる子供たちの受け入れ、プログラムの用意、帰宅時に渡す書類の準備、など、職員の準備が綿密になされていることを知りました。ご苦労さまです。
2. 電話番号の間、月刊「発達教育」(公益社団法人 発達教会発行)に掲載されている母親の手記をいくつか読みました。対象となる児童が多くいることと、親としての苦労を知りました。

貴重な体験をさせてもらった、夏の一夕でした。

YMCA 報告

木下遥七 他

<Big Smile・キラキラサマーキャンプ>

2024年8月24日(土)~25日(日)新潟県南魚沼市にて「BigSmile・キラキラサマーキャンプ」を実施いたしました。クローバークラス、たんぼぼ(野外グループ)、アップ(卒業生グループ)に在籍している子どもたち計23名が参加しました。宿泊施設はこれまでもお世話になっている大峰館を利用しました。

初日の昼は「水遊びと鉄道の旅」のグループに分かれて過ごしました。

「水遊び」グループは、新潟の冷たい水で、水遊びそしてスイカ割りとお夏を大満喫しました。

「鉄道の旅」グループは、塩沢駅から乗車。越後湯沢駅へ行きました。ラッピング電車や新幹線が見れ、嬉しそうでした。



台風が日本へ接近していたこともあり、雨予報がでていた2日間でした。ですが、子どもたちの普段の行いが良いからでしょうか。外にでるときは、雨に降られることなく過ごすことができました。

2日間、子どもたち、宿の方の楽しそうな笑い声が聞こえていました。新潟の自然、人との関わりの中で、お互いに成長できた2日間でした。ボランティアリーダー・関係団体・支援者の皆さまに深く感謝申し上げます。(木下遥七)

<ボランティア募集>

夏のキャンプが終わり、冬に向けて準備が始まります。今年の夏も多くのボランティアに支えられた活動でしたが、冬のキャンプに向けて引き続きボランティアリーダーを大募集していますので、ご家族、お知り合いの方がいらっしゃいましたらぜひお声がけください。

公益財団法人 埼玉YMCA
ボランティアリーダー
募集中!

みつかる つながる よくなっていく
したい何かがみつき、誰かとつながる
私がよくなる、かけがえのない場所



YMCAとは? YMCAは1844年ロンドンで誕生し、世界120以上の国と地域でおよそ6500万人の会員を有するNGO(非営利組織)です。青少年の健全育成活動の一環として野外教育、国際協力、障がい児支援、社会奉仕プログラムなど様々な体験活動を実施しています。いつの時代も子どもたちが安全に、安心してのびのびと育っていくために大切なことをたくさんの人たちと共に育んできました。

ユース・エンパワメント ユース・エンパワメントとは、ユース(YMCAでは18歳~35歳までをユース世代としています)一人ひとりが持っている力を発揮し、自発的に行動できるようにすることです。YMCAではこのことを力を入れて取り組んでいます。

ボランティア活動内容 埼玉県内の拠点(所沢・川越)にて、大学生や専門学校生を中心としたボランティアと専門スタッフが一緒になって、主に幼児から高校生が参加する野外活動(デイキャンプ(日帰り)・シーズンキャンプ(宿泊)など)の企画、準備を行っています。各拠点の活動内容詳細や応募につきましては、下記の二次元コードを読み取っていただきご確認ください。



YMCAではみなさんの持っている力を発揮できる場がきっとあるはず!
ご連絡お待ちしております。

公益財団法人 埼玉YMCA
所沢センター 〒359-1141 所沢市小手振町1-39-2 Tel:04-2939-5051 Mail:tokorozawa@saitamaymca.org
川越センター 〒350-0046 川越市菅原町7-16 Tel:049-2262491 Mail:kawago@saitamaymca.org

<小さなアトリエプロジェクト>

8/3,7,8,21,22 の5日間、YMCAと角栄商店街にて小さなアトリエプログラムを行いました。このプログラムはプレゼンテーションを経て、YMCAとワイズメンズクラブの支援金を受けています。当日は、夏の宿題を行うだけでなく、仲間や地域の方々と会話を楽しんでいる様子があちこちで見られました。5日間を通して、地域の親子づれ、小学生、大学生など、39名の方々が参加しました。太郎さん、暑い中、アイス等の差し入れをありがとうございました！次回は、冬休みに行く予定です。皆さん、ぜひお立ち寄りください。



(編集後記)

今月も、皆さんの協力で内容が充実したブリテンを発行することができました。どうぞごらん下さい。

9月になっても真夏のような日々です。皆さん、どんな夏を過ごされましたでしょうか？ 我が家では、部屋に保管していた玄米に、大量の“ノシメマダラメイガ(蛾)”が発生し、一騒動となりました。シロアリなら、この家はおしまいかと、思うような現象でした。早速信頼できる業者に見てもらったところ、穀類に発生する蛾で、建物に害を加えるようなものではないことが分かり安堵しました。部屋を片付けて、この蛾を退治する消毒をもらい、一件落着となりました。この家に住んで30年以上ですが、こんなことは初めてでした。忘れられない2024年の夏となりました。

秋は、いくつか行事が計画されています。特に、10月19日(土)は、山本剛史郎部長の関東東部部大会がウエスタ川越で開催されます。奮って参加しましょう。

(KY)